

# 感染症についてのお知らせ



墨田区保健所 保健予防課 感染症係 区役所3階  
電話 03-5608-6191  
FAX 03-5608-6507

平成30年  
7月号

## 東京都内の感染症流行情報

都内で百日咳の報告が増えています。

伝染性紅斑および手足口病の報告数が都内一部の地域で増えており、今後のうごきに注意が必要です。

ヘルパンギーナは昨年と同じ時期よりも報告数が増えています。

## 感染症のおしらせ

### 都内で百日咳の報告が増えています。

2018年1月より、百日咳は 国へ「全数報告する疾患」となり、発生の状況がより詳しく把握できるようになりました。都内では6月に入り報告数が増えています。患者さんの年代をみると半数は10歳未満ですが、20歳以上の報告もみられています。

#### <百日咳とは>

百日咳菌による感染症です。

**感染経路** 飛沫・接触感染で、患者さんの咳やくしゃみに含まれる細菌によって感染します。

**症状** 風邪症状で始まり、徐々に咳の回数が増えます。乳児の場合、無呼吸発作など重篤になる可能性があります。

**ご注意** 年長児や成人の場合、予防接種を済ませていても発症することがあります。その場合、特徴的な咳が目立たないため、百日咳にかかっていることに気が付かず、乳児の感染源となっていることがあり注意が必要です。

**治療** 抗菌薬を使用します。また、家族や身近な人にも予防的に抗菌薬を投与することが推奨されています。詳しくは医師へご相談ください。

**予防のポイント** 有効な予防は予防接種です。4種混合(DPT-IPV)または、3種混合(DPT)が百日咳ワクチンを含みます。生後3か月以降4回の確実な接種が必要です。咳がある時は「咳エチケット」を心掛けましょう。



#### 咳エチケット

咳が出る時は、ティッシュ等で口と鼻をおおう  
咳・くしゃみが続くときはマスクをする  
とっさのくしゃみは袖などでカバー

## 海外旅行では感染症にご注意ください。

夏休みなどで海外旅行を予定している方もいらっしゃると思います。

海外では日本と気候、衛生環境が異なることから旅行中は様々な感染症に注意をする必要があります。また、訪問する地域によっては、日本にはない病気がある場合もあります。蚊やダニなどの虫や、いぬやラクダなどの動物との接触には、注意が必要な場合があります。

### 海外旅行前には最新の感染症流行情報を確認！

旅行先の衛生状況や、今どんな感染症が流行っているのか情報を事前に入手し感染症にかからないための注意事項を確認しておきましょう。

旅行先の感染症情報の確認と準備にこちらをご活用ください。

・FORTH (For Travelers' Health : 厚生労働省検疫所)

<http://www.forth.go.jp/index.html>

・海外旅行者・帰国者のための感染症予防ガイド (東京都 感染症対策課)

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/iryo/kansen/yoboguide.html>

### 体調管理を万全に。

感染症の予防には、出発前に体調を整え、免疫力を高めておくことが大切です。持病がある方は旅行前に余裕をもってかかりつけ医に相談し旅行日程や準備について相談しましょう。また、現地で具合が悪くなった時の相談先を確認していきましょう。

### 旅行中に気を付けたいこと

感染症予防の基本は手洗いです。外出後、トイレの後などは清潔な水と石けんで手を洗いましょう。

生水、氷、カットフルーツ、サラダ、ラクダの生乳はご用心ください。

食べ物は十分加熱したものを食べましょう。

水遊びにご注意。裸足は禁物です。淡水の湖や河川は寄生虫や病原体に汚染されている危険性があります。むやみな水遊びはやめましょう。けがの防止のため、はだしで歩くことも避けましょう。

虫に注意しましょう。蚊、ダニなどが感染症を媒介することがあります。虫に刺されないような服装、虫よけ剤など適切に使いましょう。

動物・鳥に注意しましょう。動物や鳥は様々な病原体を持っている可能性があることから、むやみに触れることは避けましょう。また、かまれないように注意しましょう。

人を介した感染症に注意しましょう。咳やくしゃみでうつる感染症が流行している地域では人ごみを避けましょう。また、性感染性にも注意が必要です。

### 海外旅行から帰ったら

帰国後、体調がすぐれないときはすみやかに医療機関を受診しましょう。

医療機関には事前に連絡し海外渡航歴があることを伝えてください。

このお知らせは、東京都感染症情報センター（<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/>）の情報及び東京都健康安全研究センターが集計を行った「東京都感染症発生動向調査週報」（<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/epidinfo/>）を基に作成しています。